

5 色の対比・輝度

(1) 輝度と輝度比

■輝度 (cd/m²)

ものの明るさを表現したものであり、単位面積あたり、単位立体角当たりの放射エネルギー（発散する光の量）を比視感度（電磁波の波長毎に異なる感度）で計測したものである。輝度は輝度計により想定することができる。（JIS Z 9111）

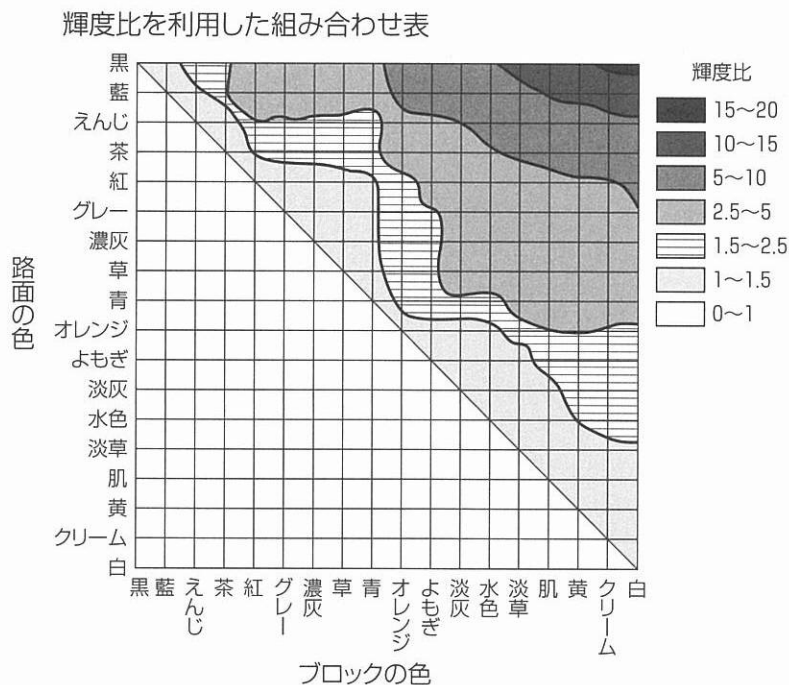
■輝度比

$$\text{輝度比} = \frac{\text{視覚障害者誘導用ブロックの輝度 (cd/m}^2\text{)}}{\text{舗装路面の輝度 (cd/m}^2\text{)}}$$

(2) 視覚障害者誘導用ブロックについて

さまざまな色の舗装材料が使われている中で、弱視者が視覚障害者誘導用床材を識別することは、困難な場合が多い。従って、床材と周囲の路面との色の相対的な関係に視点を置く必要がある。

その指標として輝度比（床材の輝度／路面の輝度）を利用した組み合わせが示されている。この例では、通常、黄色のブロックが好ましいが、黄色の舗装や風致地区などで、やむを得ず黄色以外の床材を必要とする場合、弱視者が識別でき、かつ晴眼者に違和感の少ない値として、ほぼ1.5～2.5という範囲が挙げられている。



(3) マンセル値

日本塗料工業会発行の塗料用標準色見本帳には、色票番号のほか、マンセル値も併記されている。このマンセル値における明度の差を3.0以上確保した色の組み合わせは識別がしやすいといわれている。

例：5 R 6 / 14
 (色相) (明度) (彩度)